

TCシリーズ

紙巻器 FKF-AC32C, FKF-AC32
 タオルリング FKF-AC70C, FKF-AC70
 タオル掛 FKF-AC71C, FKF-AC72C
 FKF-AC71

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●施工完了図

紙巻器	FKF-AC32C, FKF-AC32		完成図	
			同梱部材	
タオルリング	FKF-AC70C, FKF-AC70		完成図	
			同梱部材	
タオル掛	品番	L寸法	完成図	
	FKF-AC71C, FKF-AC71	440mm		
FKF-AC72C	640mm			
			同梱部材	
			数量	
			本体	1
			取付金具	2
			φ4.0タッピンねじ	4
			小ねじ	2
			施工説明書	1
			取扱説明書	1

●施工前のご注意

- 施工前に、この「ご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工後、正常に作動することを確認してください。
- この施工説明書はお客さまで保管頂くように依頼してください。

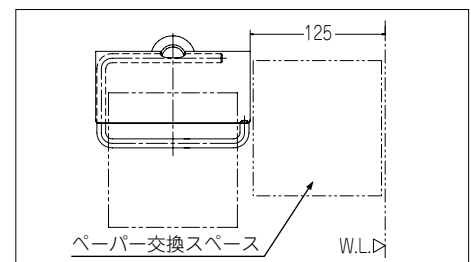
●図記号の意味は以下のとおりです。

	「注意しなさい！」（注意を促す記号です。必ずお読みになり記載事項をお守りください。）
	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

●参考取付高さは目安です。他の機器との組み合わせ時や建築側の障害物がある場合は、使い勝手を考慮し調整ください。

乾式壁の場合		注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
		取付部材としてなべタッピンネジ（同梱）を使用してください。 ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
		ねじ込み深さが20mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。 ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
		石こうボード等ボードには木ねじはきません。必ず壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さを確保してください。 ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
湿式壁の場合		ボードの厚さが125mmを超える場合は越えた分だけ長いねじを別途用意してください。 ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
		別売りのAYボルトを用意してください。（品番：AY-21(M4×40) 下穴φ7.5×40mm） ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
		壁仕上材（モルタル、モルタル+タイル等）の厚さは20mm以下としてください。 ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
		ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。 ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
		木ずり下地、ラスボード下地の場合は、壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さ20mm以上を確認してください。 ※商品が外れたり、ガタついたりしてケガをする恐れがあります。
		商品の施工用ねじ穴ピッチは距離が短いので、コンクリート等の壁面状態や施工の仕方によっては壁面の一部が欠けたりする恐れがあります。あらかじめ、ご承知置きをお願いします。
		小ねじをしっかり締め、ガタつきがないことを確認してください。 ※商品が外れ落下し、ケガをする恐れがあります。
		取付面に凹凸が0.5mm以下であることを確認してください。 ※凹凸があると取り付けられない場合があります。 凹凸を解消するかスペーサーを使用してフラット面を確保してください。
		下穴は必ずあけてください。また、ねじは強く締め付けすぎないでください。 ※インパクトドライバー等の強いトルクが加えられるドライバーの使用は、本体や取付金具が破損する原因や壁に本体や取付金具がめり込む原因になります。

●紙巻器は右側125mmのペーパー交換のためのスペースを確保してください。



このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

●この説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。

お客様へ

※本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、LIXIL修理受付センターでも商品の取り付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

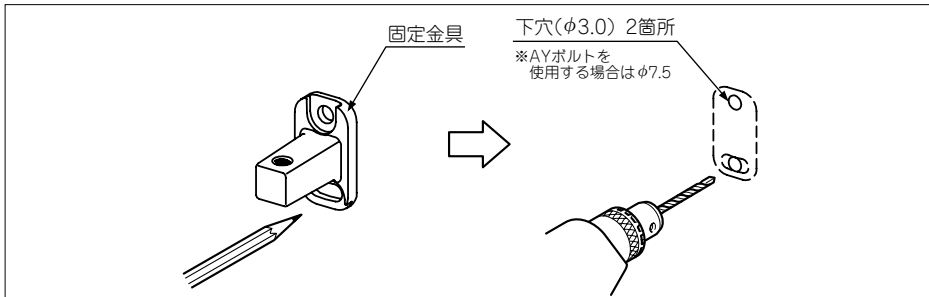
施工業者様へ

※お客様に必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。お渡しするときは使用方法をご説明ください。

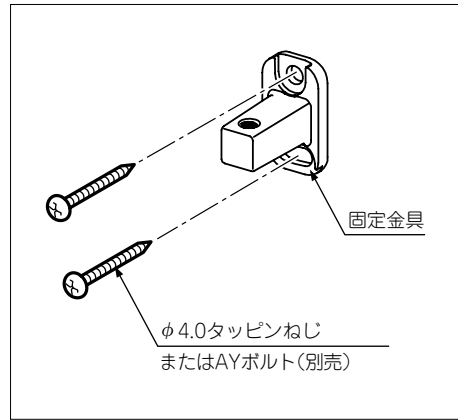
●施工方法

〔紙巻器・タオルリングの場合〕

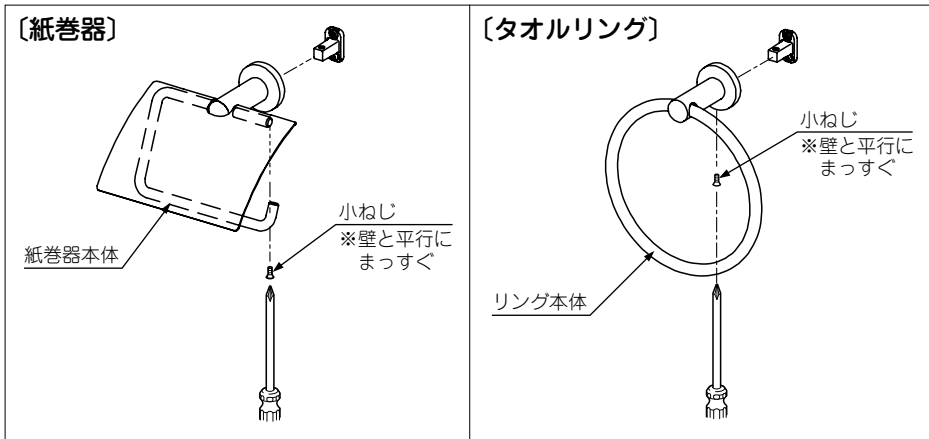
1. 固定金具を取付面にあて、上下2ヶの取付穴の位置をけがきます。つづいて、けがき穴位置に下穴をあけます。
※下穴は寸法を測定し、正確にあけてください。
※固定金具が傾いた状態で固定されると、施工後の紙巻器・タオルリングが傾きます。
固定金具の水平・垂直を確認してください。



2. タッピンねじまたはAYボルトで固定金具を取り付けます。
※タッピンねじまたはAYボルトは、最後までしっかりとねじ込んでください。外れてケガをしたり、使用中にガタが発生する恐れがあります。



3. 固定金具に小ねじでリング本体、あるいは紙巻器本体を組み付けます。
※小ねじは、ドライバーで最後までしっかりとねじ込んでください。
※小ねじについている橙色の緩み防止剤は、施工後はみ出た分をきれいに拭き取ってください。

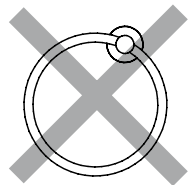


注意

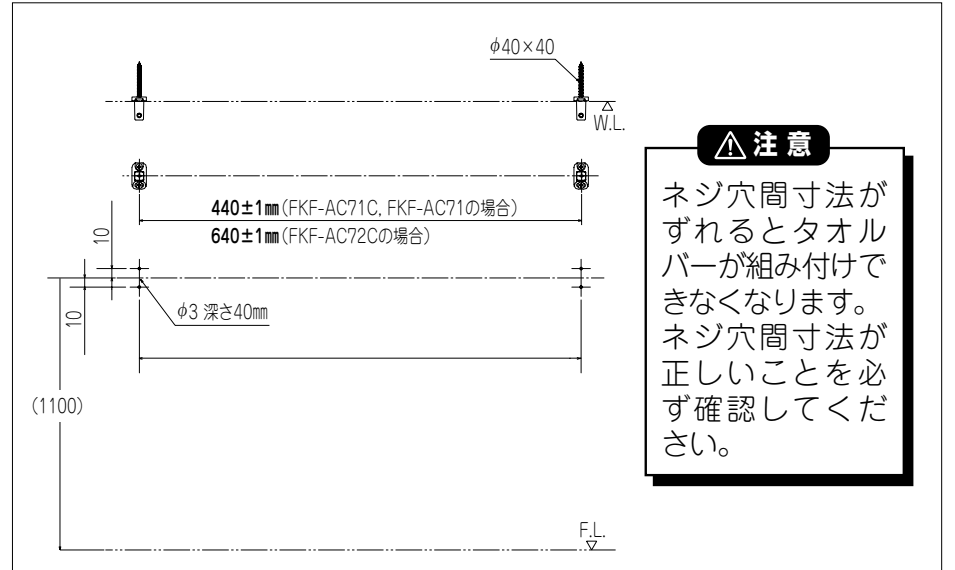
小ねじは壁と平行にまっすぐねじ込んでください。
※ななめにねじ込んでしまうと途中でねじ込めなくなり、商品がガタつく恐れがあります。

注意

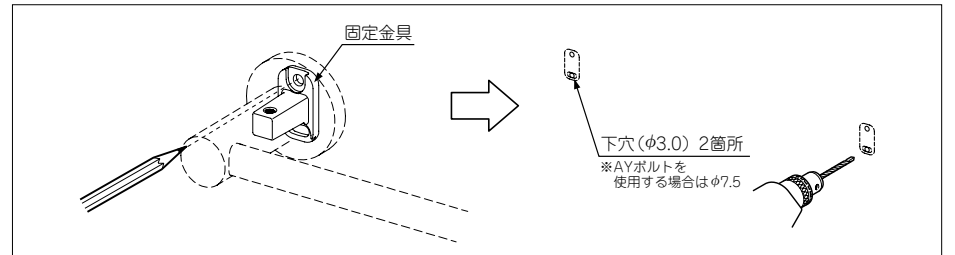
商品が傾かないように設置してください。傾いていた場合は調整してください。



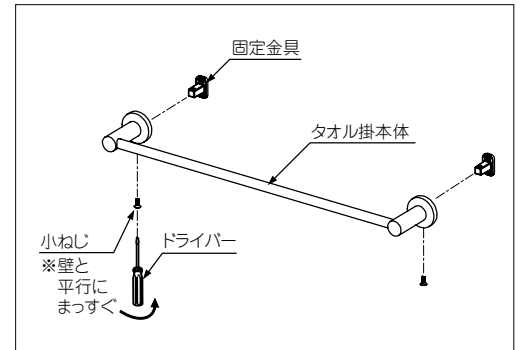
〔タオル掛の場合〕



1. 取り付ける壁の施工位置に合わせて固定金具を取付面にあて、上下2ヶの取付穴の位置をけがきます。つづいて、けがき穴位置に下穴をあけます。
※下穴は寸法を測定し、正確にあけてください。



2. タッピンねじまたはAYボルトで、固定金具を取り付けます。
※タッピンねじまたはAYボルトは最後までしっかりとねじ込んでください。
3. 固定金具にタオル掛本体を取り付け、小ねじをしっかりとねじ込み組み付けます。
※小ねじは、ドライバーで最後までしっかりとねじ込んでください。使用中にバーが外れてケガをしたり、使用中にガタが発生する恐れがあります。



●施工後の注意

固定金具にガタつきがなく、しっかりと壁に固定されていることを確認してください。

※ほこりやごみの付着による傷つきを防ぐため、施工完了後、紙巻器・タオルリング・タオル掛、それぞれが入っていた袋を再度被せてお客様にお渡しください。

